

【現代文の出題傾向及び対策】

1、出題傾向（設問内容）

- ・ 本文読解においては、「正確さ」が求められる。
 - ・ 公募推薦入試の出題は三題。試験時間内に解き終えるためには、テンポよく本文読解および解答作成をおこなう必要がある。つまり、ある程度の「解答速度」が求められる。
 - ・ 文章の種類として、評論や随想が出題されている。
 - ・ 本文を読む際には、大事なポイントに線を引きながら読む。
 - ・ 設問タイプは、漢字、語句の意味、空欄補充、内容説明、内容合致など。
- ↓《知識問題》漢字、語句の意味、空欄補充、文法問題、文学史など
- 《読解問題》内容説明、理由説明、内容合致など

《二〇二三年度 公募推薦入試》（前期型）を例として

第一問・随想

- 問一 空欄補充 問二 語句の意味 問三 空欄補充
問四 内容合致

第二問・評論

- 問一 空欄補充 問二 空欄補充 問三 空欄補充 問四 空欄補充
問五 漢字問題 問六 空欄補充 問七 内容合致

第三問・評論

- 問一 空欄補充 問二 漢字問題 問三 空欄補充 問四 空欄補充
問五 空欄補充 問六 空欄補充 問七 本文要約に関する空欄補充

*漢字問題、語句の意味を問う問題といった基礎知識（言葉の知識や国語常識）の問題が、読解問題の中で出題されている。

↓おぼえていれば得点することができ、「合格」へと近づくことができる。

*読解力を確認する問題では、傍線部の内容や理由を説明する問題、本文内容との合致を確認する問題などが出題されている。

↓漠然と傍線部付近だけを眺めて考えるところといった場当たりのなやり方ではなく、どの問題でも同じように読んで、同じように解ける「読解法・解答法のスタイル」、つまり、「型」を身につけるべきである。

2、対策

① 知識問題

↓おぼえていれば正解・得点できる問題。得点源とすべき。国語便覧や語彙力・漢字の問題集を使って、集中的に取り組む。漢字・文法問題・文学史といった基礎知識（基幹知識）を養うのは、入試対策のためだけではない。大学入学後の学問研究や自分自身のスキルを高めるためでもある。計画的にかつ継続的に取り組んでおくべきである。

② 本文読解（読解法と解答法の確立）

↓現代文の勉強方法として、文章によって読み方を変えたり、問題によって場当たりにアプローチしたりするのは、得策とは言えない。たとえ初見の文章であっても、〈同じように読み、同じように解く〉という「読み方」「解き方」の方法論を理解して、作業することができるよう準備していく。これが、現代文の勉強である。

③ 過去問題で、知識問題や読解法・解答法の確認・完成

↓流通科学大学の過去問題を使って、知識問題や読解法・解答法の確認をしよう。必ず、二回以上解く（本番までに計画を立て実行する）。一回目は、制限時間を設けずに、ゆっくり解いて「読める・解ける」という方法を確認する。二回目は、時間をはかりながら、はじめて解くつもりで、「時間内完結」を目指す。つまり、解答スピードの確認をおこなう。

【現代文の学習 まとめ】

- | | |
|--------------|-----------------------|
| ① 基礎知識をおぼえる | ↓ 漢字、文法や文学史 など |
| ② 読解法・解答法の確立 | ↓ 自力で読んで、解ける方法の習得 |
| ③ 過去問題で確認・完成 | ↓ 「時間内」で解ける方法とスピードの確認 |

《二〇二三年度公募推薦入試〈前期型〉入学試験問題 第一問》を例として
* 山極壽一「時間を金で買う現代」より

《設問解説》

問一

【解答】 ア④ イ③ ウ② エ①

*アについて、第2段落の後半「記憶の中に時間の経過とともに」が根拠。

*イについて、直前「時間の経過とともに」と直後「時間にとって代わった」が根拠。第3段落は「時間も距離と同じように金に換算されるようになった」という現代の状況が述べられている。

*ウについて、第4段落第5文目「しかし、実はその持続性や普遍性は危うい約束事や予測の上に成り立っている」が根拠。

*エについて、第5段落の「子どもの成長」という具体例をふまえたうえで、「時間を紡ぎ出す記憶をお金に換算することはできないのだ」が根拠。

*空欄補充の問題は、毎年出題されているので、スムーズな解答法をマスターしておこう。

問二

【解答】 ③

* 語句の意味に関する問題。語彙力を身につけるために、日頃から継続的に対策をおこなっていきこう。

◎語彙力対策のポイント

- ① 辞書を引く
- ② 問題演習で出て来たらおぼえる
- ③ 語彙力の問題集を使って集中的におぼえる

問三

【解答】 ④

* 空欄補充の問題。空欄を含む一文を確認すると、「く」と切に思う」とあることから、筆者の主張に関するものが入る。第5段落後半「信頼をお金で買えない」「信頼とは人々の間に生じた優しい記憶によって育てられ、維持される」が根拠。

問四

【解答】 a ㉒ ② b ㉒ ② c ㉒ ② d ㉒ ①

* 内容合致の問題。この問いを例題として、スムーズかつ正確な「論理的解答法」をマスターしよう。また、試験本番で確実に正解できるように、過去問を用いてくりかえしトレーニングしておこう。

* a は第8・9段落に、b は第7・8段落に、c は第8段落に、それぞれ反する。

* d は第9段落の内容に合致する。

《ことばのチカラ》

- ・担保 ・持続(的) ・普遍(性) ・ネットワーク ・社会資本
- ・コミュニケーション ・換算

* 本文に登場する語句の中で、意味を知っておくべき語句を抜き出してあります。自分の言葉で説明できないものについては、辞書を使って意味調べをしましょう。